

ヨード製剤の安全性と 眼内炎対策

座長のことば

世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大しています。一度国内にウイルスが拡散すると排除が困難なことから、「水際対策」の重要性が痛感させられます。周囲を海で囲まれたわが国と、周囲を眼表面液で囲まれた眼球は似たような環境にあります。異なる点としては、結膜の常在細菌が侵入してきた病原菌を排除する「天然のバリア」として存在することです。しかし病原性のない常在細菌であっても、白内障手術、硝子体手術、硝子体内注射の際に眼内移行すると病原性を示し眼内炎を生じることが分かっています。

現在、常在細菌中の「耐性菌」が増加しつつあるため、抗菌薬の適正使用について再考しなくてはならない状況にあります。「ヨード製剤」は抗菌薬と比べて、抗微生物スペクトルが広く、「耐性菌」を作ることなく、希釈すると短時間で殺菌効果を示すという特徴があります。アップデートな「ヨード製剤」情報が先生方の日々の臨床に役立てれば幸いです。

演題

座長



島田 宏之 先生
(日本大学病院 アイセンター)

① PA・ヨード 安全性試験

篠田 啓 先生 (埼玉医科大学)

② 眼内炎予防

秦野 寛 先生 (ルミネはたの眼科)

③ 眼内炎治療

中静 裕之 先生 (日本大学病院 アイセンター)

座長 島田 宏之 先生 (日本大学病院 アイセンター)



1978年 日本大学医学部 卒業
1982年 日本大学医学部大学院 修了
1988年 米国 Bascom Palmer 眼研究所留学 (~1989年)
1991年 日本大学医学部 講師
2005年 日本大学医学部 准教授
2007年 日本大学医学部 診療教授
2012年 日本大学医学部 教授
2016年 日本大学病院 アイセンター長
2017年 日本大学医学部 客員教授

演者 1 篠田 啓 先生 (埼玉医科大学)



1990年 慶應義塾大学医学部 卒業
1995年 杏林大学網膜硝子体 臨床フェロー
2001年 南ドイツチュービンゲン大学人工網膜研究プロジェクトに参加
2002年 慶應大学眼科 助手
2005年 東京医療センター眼科 医長
2007年 大分大学眼科 准教授
2009年 帝京大学眼科 准教授
2013年 同教授
2016年 埼玉医科大学眼科 教授

演者 2 秦野 寛 先生 (ルミネはたの眼科)



1975年 横浜市立大学医学部 卒業
1983年 横浜市立大学医学部眼科 講師
1984年 UC San Francisco, Proctor Foundation 留学
1991年 横浜市立大学医学部眼科 助教授
1997年 ルミネはたの眼科 院長
2009年 横浜市立大学医学部 臨床教授

演者 3 中静 裕之 先生 (日本大学病院 アイセンター)



1994年 日本大学医学部 卒業
1996年 横須賀市立市民病院眼科
1997年 江口眼科病院 (函館市)
2000年 社会保険横浜中央病院眼科
2012年 駿河台日本大学病院眼科 診療准教授
2014年 日本大学病院眼科 診療准教授
2016年 日本大学病院眼科 准教授
2017年 日本大学病院 アイセンター長
2017年 日本大学病院眼科 診療教授